

2023年1月16日
日本生命保険相互会社

トランジション・ローン契約の締結について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、大阪ガス株式会社（社長：藤原正隆、以下「大阪ガス」）に対し、シンジケーション方式によるトランジション・ローン（以下「当融資」）契約を締結しました。

トランジション・ローンは、脱炭素社会の実現に向け、長期的な戦略にのっとり着実な温室効果ガス（以下「GHG」）排出量削減の取り組みを行う企業に対し、その取り組みを支援することを目的としたファイナンス手法です。

当融資による調達資金は、兵庫県姫路市の天然ガス発電所の建設資金に充当されます。高効率な天然ガス発電設備の導入を通じ、年間で約114万トンのGHG排出量削減に貢献する計画です。

なお、大阪ガスが策定し、当融資に適用するグリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワークについては、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社から第三者評価を取得しており、金融庁・経済産業省・環境省により定められた「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」等との適合性について確認しています。

当社は、生命保険会社としての使命や公共性を踏まえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、ESG投融資を強化しており、当融資もその一つと位置付けています。

今後も、持続可能な社会の実現への貢献と契約者利益の一層の拡大を目指し、ESG投融資に取り組んでまいります。

<案件概要>

企業名	大阪ガス株式会社
実行日	2023年1月16日
当社融資額	25億円
資金使途	兵庫県姫路市の天然ガス発電所の建設資金

<今回の案件と関係の深いSDGs目標>

目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



目標9：産業と技術革新の基礎をつくらう

レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る



目標13：気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



以上

2022-2944G, 広報部